

参 考 資 料

内 閣 府
原子力被災者生活支援チーム
平成 23 年 9 月

福島県民の避難の状況について

避難者数合計

112,192人

(1) 福島県内への避難者数

60,616人

避難所(体育館・集会所等) 304人

二次避難所(旅館・ホテル等) 4,451人

仮設住宅(民間借上げを含む) 55,861人

(2) 福島県外への避難者数

51,576人

山形県 10,043人

新潟県 6,199人

東京都 5,642人

千葉県 3,150人

栃木県 2,670人

埼玉県 2,432人

栃木県 2,335人

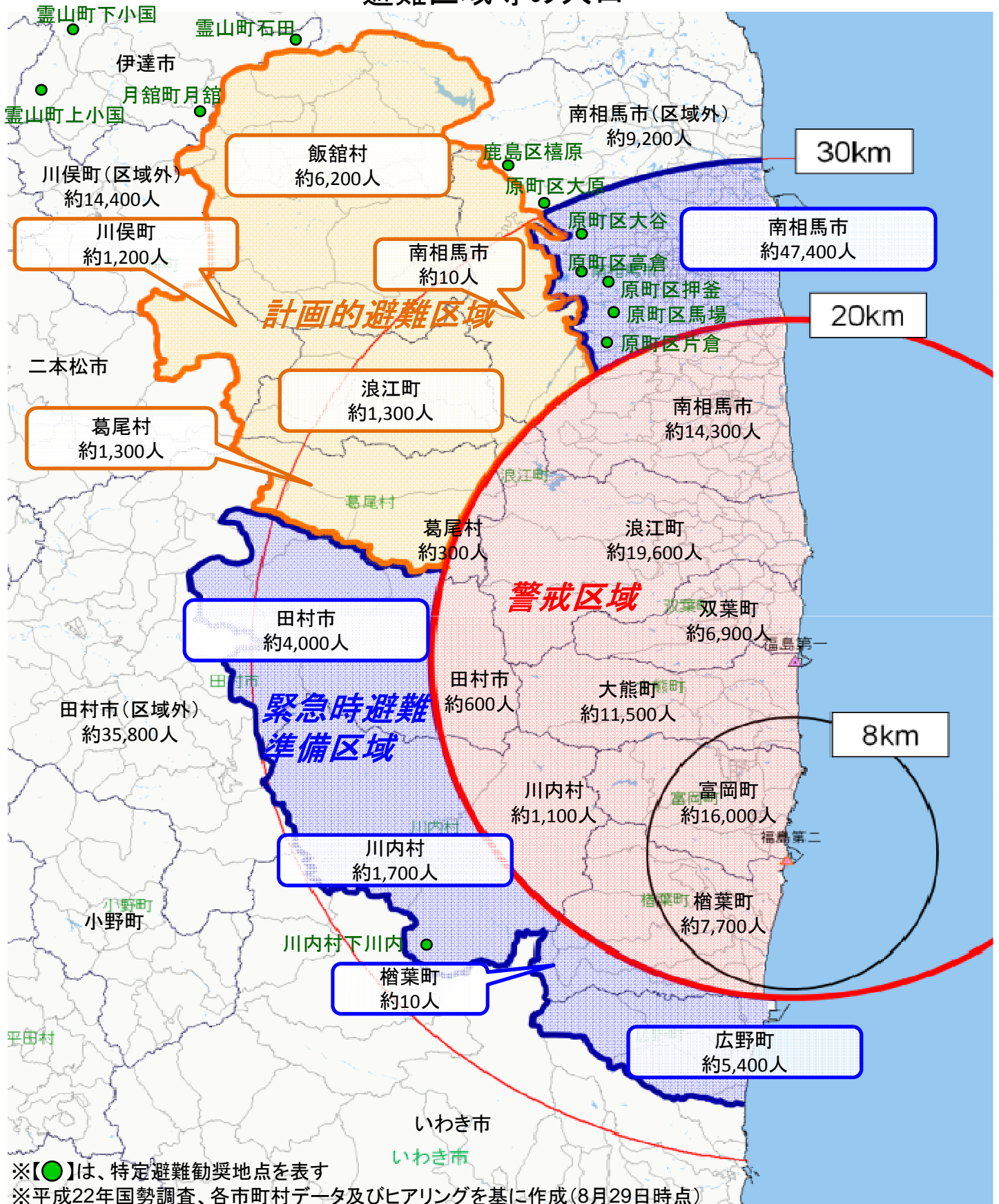
群馬県 2,108人

北海道 1,828人

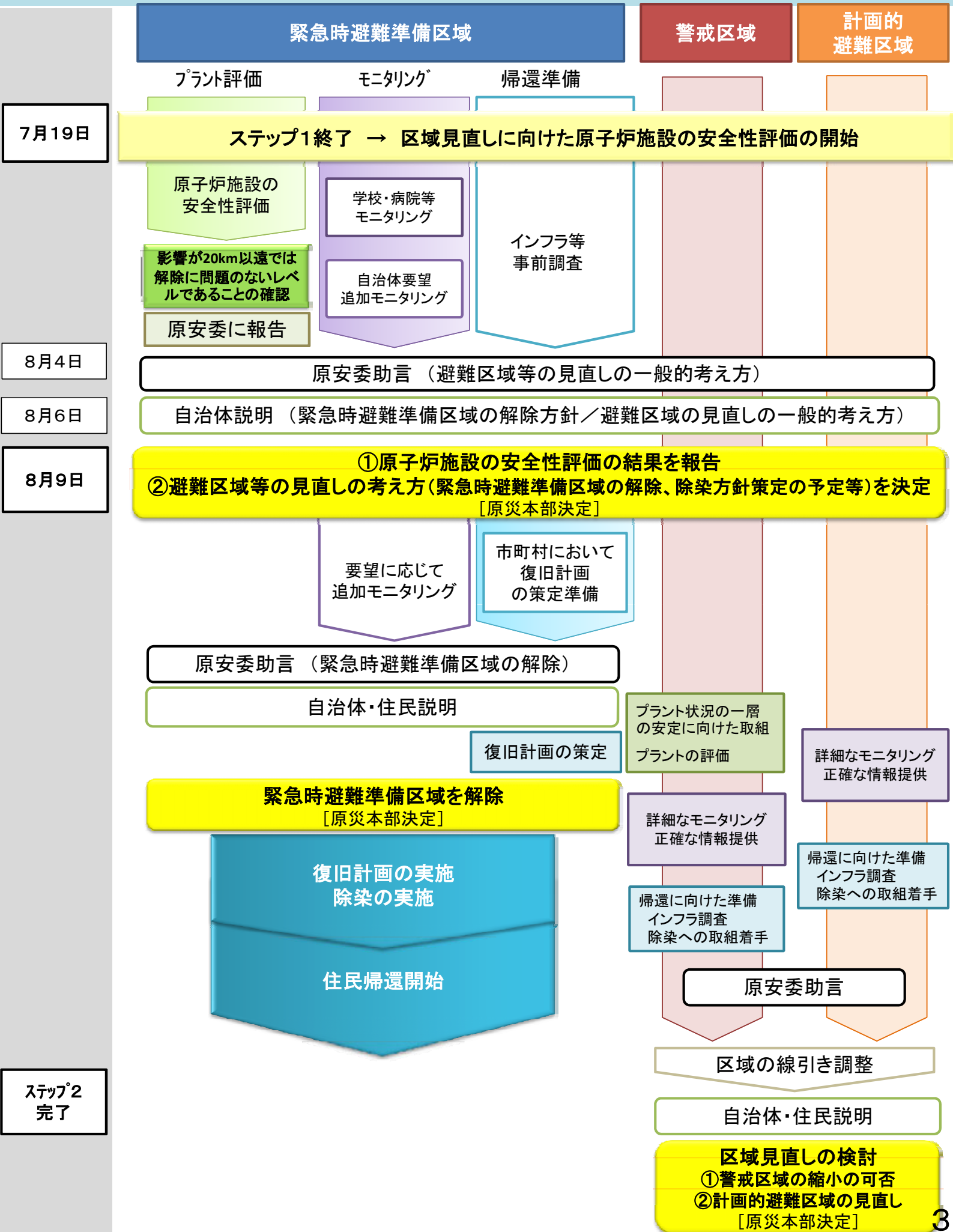
等

出典：福島県発表「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報(第350報)」
(平成23年9月2日(金)現在)など福島県作成資料より

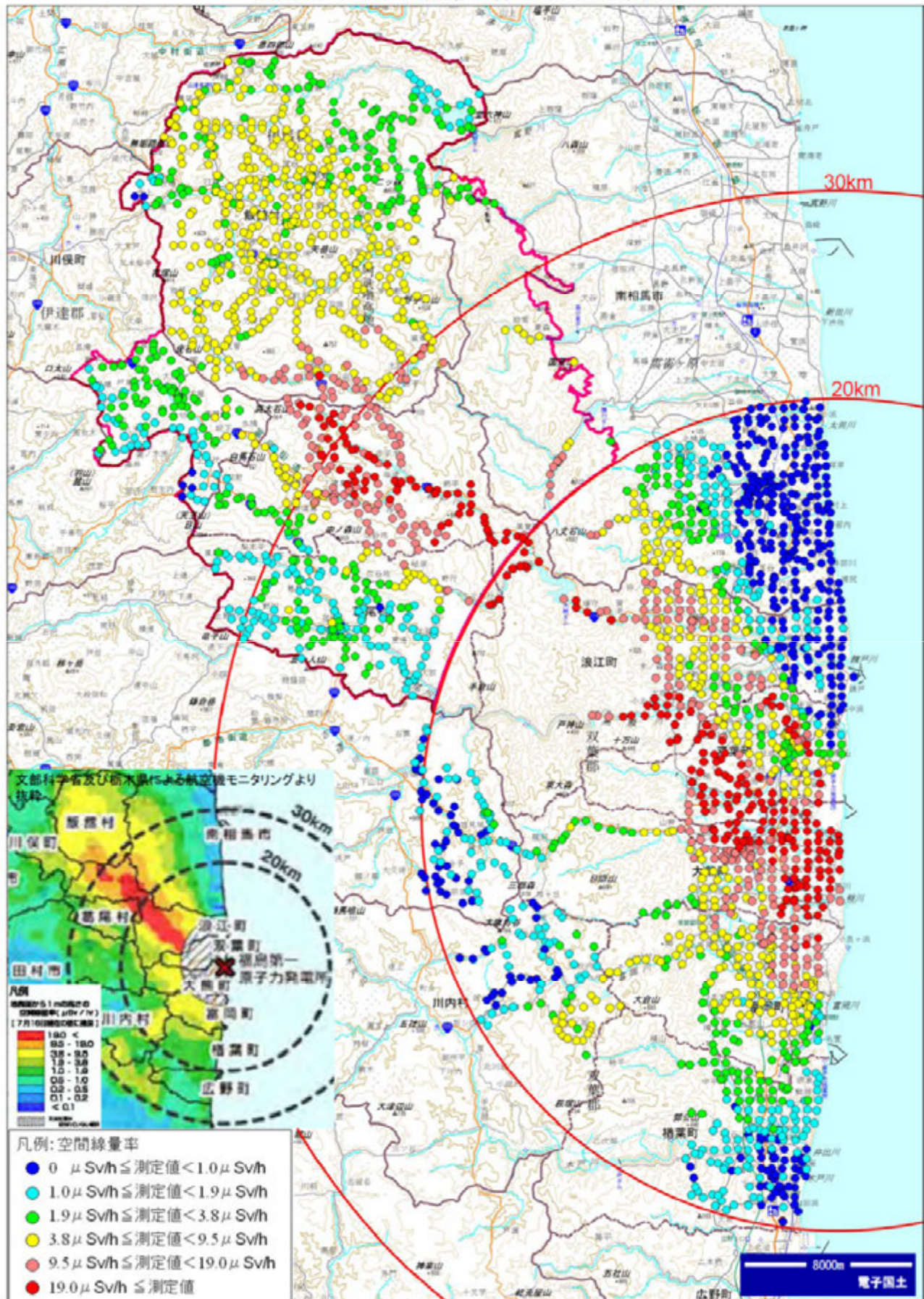
避難区域等の人口



区域見直し・住民帰還に向けた進め方

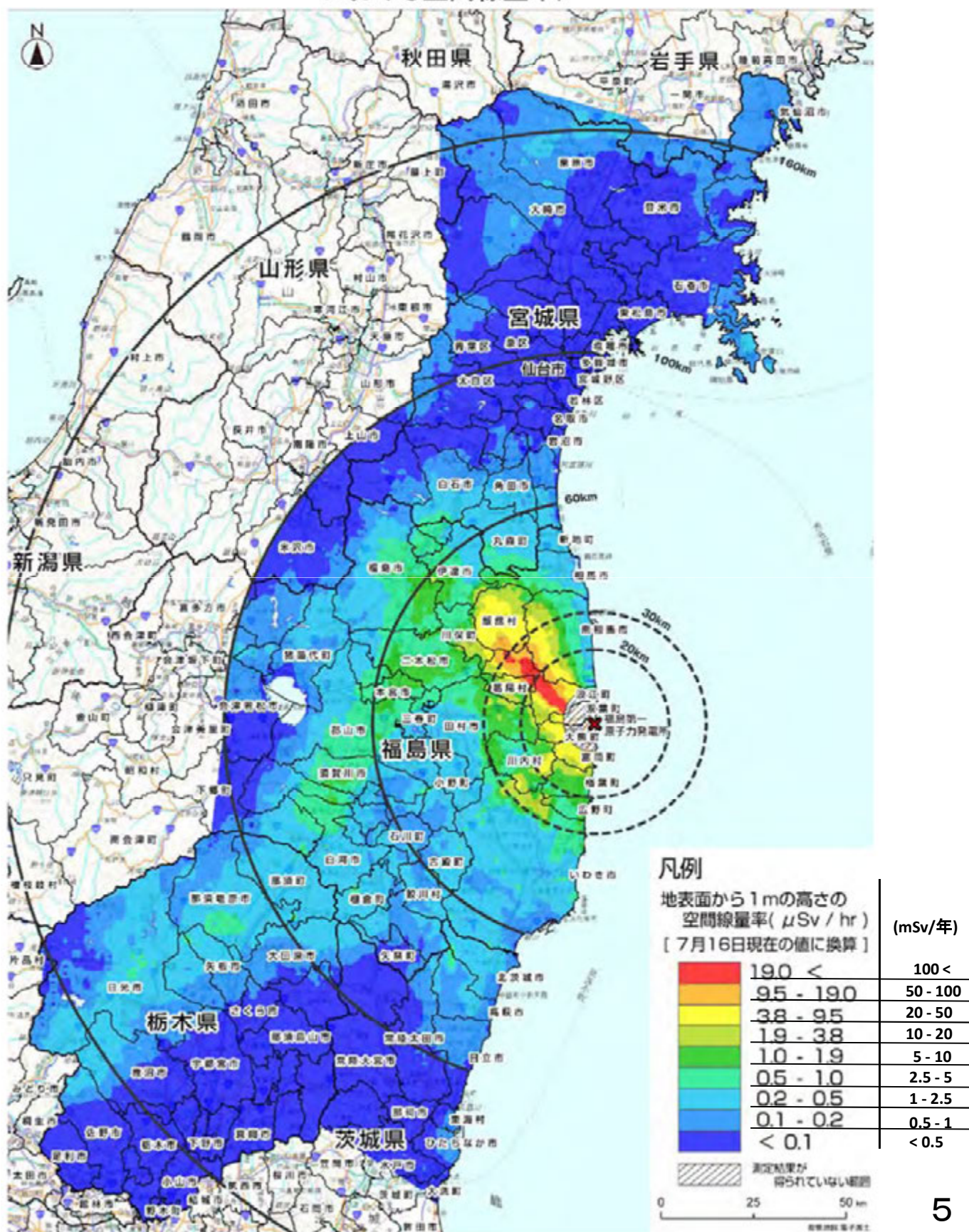


広域モニタリング結果全体マップ(1m高さ)



9月1日原子力被災者生活支援チーム、文部科学省発表(実施期間7月4日~8月20日)

文部科学省及び栃木県による航空機モニタリングの結果
(文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び栃木県南部
における空間線量率)



8月30日文部科学省発表(測定実施日7月26日～8月2日)

7



(土壌採取日:6月6日~6月14日、6月27日~7月8日)

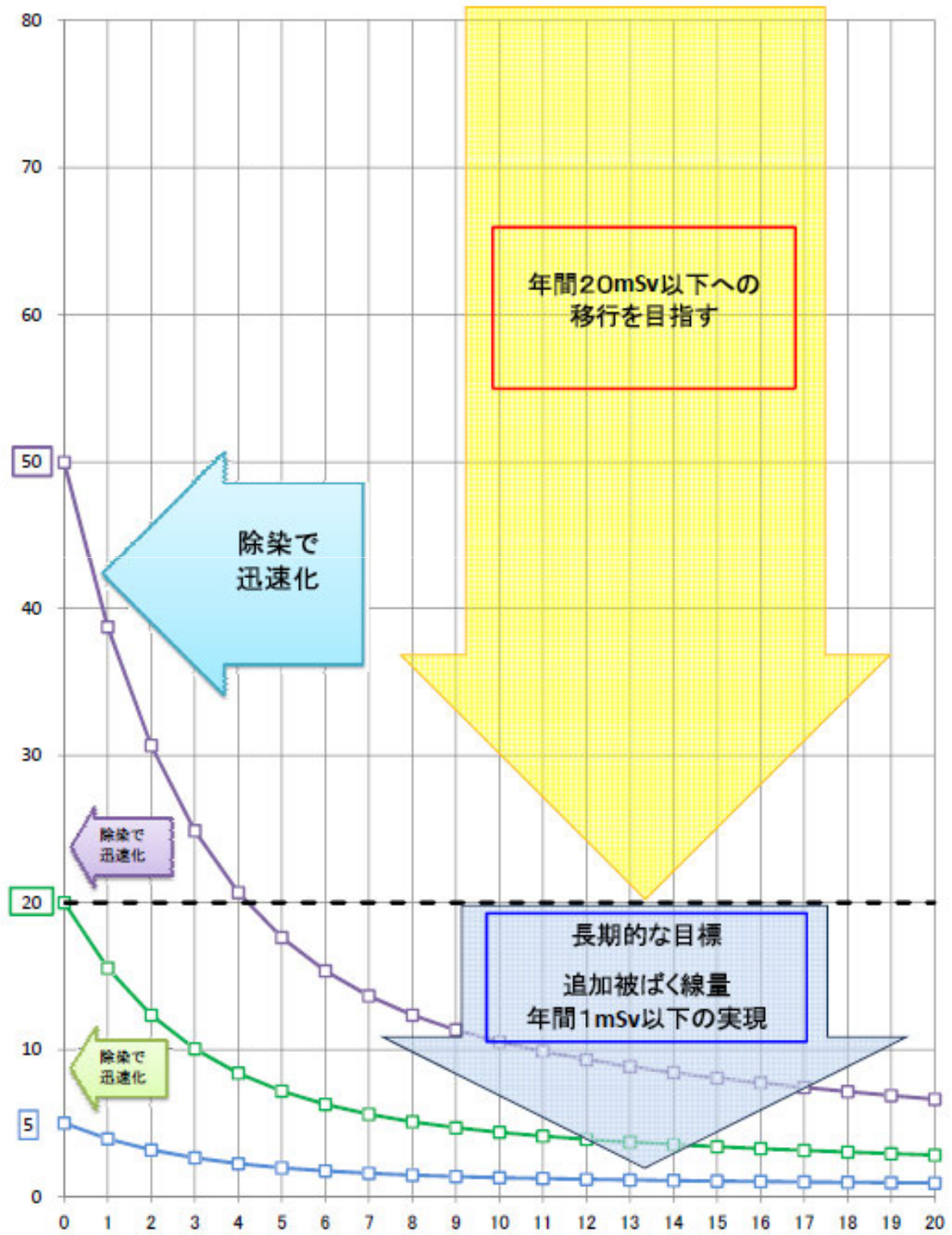
[仮定②]:1L → 1.3kgの土からなると仮定する。

したがって、 1 m^3 の土は $50\text{ L} \times 1.3\text{ kg} = 65\text{ kg}$ となり、 Bq/m^3 は、 Bq/kg の数値を65倍することで得られる。

推定年間被ばく線量の推移

原子力安全委員会の助言を踏まえ、物理的減衰及び風雨などの自然要因による減衰を考慮した変化を試算したもの

縦軸：推定年間被ばく線量
[mSv/年]



横軸：経過年数（現時点から）

[参考] 除染の実施イメージ

雨樋(除染前)



校庭の除染



側溝の除染作業



家屋の壁の
高圧洗浄



道路脇の除染作業



農地の表層
土壌のはぎ取り



除去した土壌等の仮置き

